

令和2年度第2回 大和市社会教育委員会議定例会（第31期）書面会議録

会議名（審議会等の名称）	令和2年度第2回 大和市社会教育委員会議定例会（第31期）	
開催日時	令和2年7月3日（金曜日）	
開催場所	書面開催	
出席状況 （回答状況）	委員	11人：伊藤委員、今宮委員、大澤委員、尾辻委員、久津間委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、中山委員、長谷部委員、丸田委員、三好委員
	関係各課	6人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部長、こども・青少年課長
	事務局	2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（259-6104）
	傍聴人数	一人（書面開催のため傍聴無し）
公開・非公開の状況	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
審議又は検討経過 及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>（1）協議事項</p> <p>1）点検・評価シート（2）健康都市やまとMANABI計画 （大和市生涯学習推進計画）（教育委員会所管分）について</p> <p>2）令和2年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3）令和2年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4）家庭教育支援に関する事業について</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><協議事項></p> <p>1）点検・評価シート（2）健康都市やまとMANABI計画 （大和市生涯学習推進計画）（教育委員会所管分）について 賛成11、反対0</p> <p>2）令和2年度社会教育委員会議から選出する委員について 賛成11、反対0</p> <p>3）令和2年度社会教育委員に関する研修会等について 賛成11、反対0</p> <p>4）家庭教育支援に関する事業について 賛成11、反対0</p> <p>【結果】</p> <p>協議事項はすべて、過半数の賛成をもって承認されました。</p> <p>社会教育委員からの主な意見・質問は以下のとおり</p> <p><協議事項></p> <p>点検・評価シート（2）健康都市やまとMANABI計画 （大和市生涯学習推進計画）（教育委員会所管分）について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜丘学習センターの「シェアカフェ」に期待します。：目標1-（2） ・各団体の（情報交換のような）交流の場と、学習活動に沿った講演会等を抱き合わせてイベントを企画してみてもどうか。：目標2-（3） 	

- ・生涯学習を計画する側も、参加・活動する側もコロナの影響で大変だと思えますが、色々と探りながら進めていただきたいと思います。
- ・健康都市大学の受講者数、乳幼児に対応する講座等の延べ参加者数、図書館等でおはなし会の延べ参加者数、高齢期に対応する講座等の延べ参加者数は目標値を上回って「達成度A」は素晴らしいと思います。講座を受けた受講者がそれをきっかけに地域とのつながりや、受講者同士の交流へと発展していくことを期待しています。
- ・健康都市大学の受講者数が多く、講座によって座席が不足する場合がありますが、私も何回か出席させて頂きました。健康に関する講座は特に受講者が多く、私も立って講座を聞きましたが、先着順で定員を区切るか、あるいは2回に分けても良いと感じました。（高齢の方も多く参加しているので着座が基本です。）
- ・特に「健康都市大学」が活発に活動し、学習センターや図書館も多くの市民に利用していただいているようで、担当部署のご尽力に敬意を表したい。コロナ感染症予防対策に留意しつつ、計画の実施、継続をお願いしたい。
- ・学習センターの市民交流スペース利用ルール、利用対象者区分の設定。図書館の購入希望図書の随時募集。スポーツ施設のこまめな点検実施、屋外プール使用不可の回復、室内温水プール増設検討など、常時子どもが運動できる場所の増加が必要。
- ・学習の場、居場所の提供等はかなり充実してきていると思われます。行政側の提供だけでなく、サークル活動が開放的に行われ、地域活動へも発展していくことで、もっと近くで参加出来る場が作られることを期待しています。
- ・自ら出ていく意欲が少ない人たちの心を捉えられる、魅力ある居場所づくりがまだまだ必要です。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休講等々により、計画を十分に推進できなかったことは仕方がないと思います。今後もコロナウイルス感染症の終息がいつになるかわからない状況にあり、新しいスタイルでの3密を極力回避しながらの推進計画を立案する必要があるかと思えます。休館、休講が続くと社会教育の衰退が懸念されます。
- ・個別目標1-(5)において、芸術に関する学習機会として、音楽祭やミニコンサートが挙げられているが、観たり聴いたりするだけでなく、できればワークショップ形式で音楽について、音楽にまつわる外国の文化や言葉などを学べる講座なども行ってほしい。これは、個別目標2-(2)にも生かせる事だと思われる。
- ・個別目標3-(1)の施設維持管理のあり方について、生涯学習センターと他の学習センターでは、利用者に対してのサービスのあり方が違う。(例えば支払いの方法など)生涯学習センターと同じような形態に統一してもらえると利用者にとっては利便性が高いと思われる。
- ・大和市が市民の「健康都市やまと」を目指して、生涯学習という観点で、市民に対して様々な取り組みを行っていることがよく理解できた。評価はその時々状況によって変化するものであり、一喜一憂する必要はない。(ただ、行政の実績評価としては数字が必要なのだろうが)昨年度の後半は、新型コロナウイルスの影響で様々な事業が延期若しくは中止となっ

た。その結果、実績評価に変動が生まれた。と考えるべきであり、実績としては、良く実践されていたと思う。

- ・社会教育施設の大半が指定管理者であるという現状を鑑み、今後は、行政では難しい民間ならではの発想を生かし、常に行政がその状況を監督・指導できる環境を作っていくことが大切であるとする。また、常に市民によるモニタリングが行える場づくりの必要を感じる。
- ・施策3の目指す姿「市民が快適な環境で学習している」において、家庭教育支援の進め方について一言。すでに検討されていることと思いますが、市民の高齢化や、家で介護・子育てと、なかなか学びの場へ出掛けられない人にボランティア講師による出張講座が行われていますが、他の団体やサークルでも同じような出張講座を開催することで、細かく市民生活に入っていくものと思います。

2) 令和2年度社会教育委員会議から選出する委員について

【意見】

- ・今年度も宜しくお願い致します。
- ・委員の皆様の専門性を生かして、ぜひよろしくお願い致します。
- ・特にありません。

3) 令和2年度社会教育委員に関する研修会等について

【意見】

- ・昨年度も公民館大会に出席させていただきましたが、学ぶことが多々あり、大変有意義でした。この経験を今後、何らかの形で活かして参りたいと思っております。令和2年度も箱根での公民館大会を希望いたしました。無事開催を祈るばかりです。
- ・なかなか別の講座、会議等に参加できず、申し訳なく思っていますが、いつも新しいことを学べる場となっているので、楽しみにしています。
- ・特にありません。

4) 家庭教育支援に関する事業について

【質問】

- ・開催日時について、前回と同様、屋外での体験学習の予定であるが、春を感じられる2月下旬から3月上旬の開催はいかがか？

(市) 2月には、他の事業が予定されていることから、12月または1月としている。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、今後中止となることも十分考えられる。

- ・定員16人は少ない様に思う。コロナ対策で仕方ないものか。

(市) 過去2年間の講座は、人を多く集めることも目標の1つとして実施してきたが、現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、講義(座学)があることから人数を少なくし、グループワークについても直接、接触することの無いよう前年度実施したようなラベルワークをやめ、参加者どうしで語り合い、意見交換する参加型学習(ワークショップ)とした。

・今回の講座は保育付きでは実施しないのか。対象が小学生の子どもを持つ保護者のため、下に幼児をお持ちの方もいらっしゃると思うがどうか。

(市) 昨年度の会議で話があったことから調べたところ、市が加入しているボランティア保険の対象については「受講者(保護者)」と「保育ボランティア」は傷害保険の対象となるが、「保育対象者(1歳6か月以上)」が保険の対象外となることから、今年度は保育無しで実施することとした。

ただし、コミセン内での保育時のみ、コミセンの施設賠償保険の対象となる。(連れ出して一緒に活動すると保険対象外となるため、現地での自然体験で連れ出してしまうことも想定し、今回は保育無しとした。)

・家庭教育支援事業の講座は主催が社会教育委員会議であるので、社会教育委員に対する報酬は必要ないのではと考えるが如何か？

(市) 本講座は市社会教育委員会議の主催事業であり、社会教育法第17条にある社会教育委員の職務にある「職務を行うために必要な調査研究」の1つとして捉え、報酬をお支払いしている。

【意見】

- ・3時間の予定ということで、余裕をもって進めることができそうです。最後の振り返りで、感想だけに留まらず、「家庭や地域で何ができるか」をしっかりと表出できるように、方向付けしていきたいと思います。
- ・保育付きにした場合は3時間の講座は長いので、体験学習の実践の時間には保護者と一緒に行くとよいと思います。
- ・内容については、休講中の各家庭における経験のシェアなど、タイムリーな課題を盛り込んでいて良いと思います。ただ、秋以降の新型コロナウイルスの感染状況がどのようになるか見通しが立たず、準備はそろそろ進めないといけない時期、となると例えば講師が直前の中止でもご理解いただける方なのかにもよりますが、今年度は親の不安もあるでしょうし中止しても良いかと思います。(内容については承認)
- ・無事開催できることを祈念致します。定員16人は少ない様に思います。本体験学習実践内容であれば講師のサポートも十分できると思いますので、定員は30人程度で良いと思っております。講師の佐々木洋さんはお忙しい方なので、もしも不都合ということであればお声掛け下さい。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止等により、なかなか先が見えない状況の中での準備が大変かと思いますが、とてもいい事業なので、ぜひ実現できることを願っています。できれば屋外での実施を含めて活動できることが良いと思います。
- ・今年度は対面での会議ができず、家庭教育支援の事業検討が事務局任せになってしまった。その点では、事務局に負担をかけてしまったことに対して申し訳なく思う。新型コロナウイルスの関係で、どこまでこの事業が実践できるかわからないが、事務局の案でお願いしたい。

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・点検・評価シート（2）健康都市やまとMANABI計画（大和市生涯学習推進計画）（教育委員会所管分）
- ・令和2年度社会教育委員会議から選出する委員
- ・令和2年度社会教育委員に関する研修会等
- ・令和2年度家庭教育支援講座（開催要項）